



## <10月の広場より>

### 大人の真似が楽しい"ごっこ遊び"

様々な工具を慣れたように使いこなし、ショベルカーの修理をしてくれるAくん。ドライバーを片手に得意顔です。生活の中で、大人がしていることをよく見て、それを再現しているのでしょうか。この、大人の真似が"ごっこ遊び"。そのイメージの世界を大人も一緒に共有して楽しみましょう。



### Kくんの世界

Kくん(2歳1か月)は真剣な顔でままごとのキッチンで料理をしていました。ペグをボウルに入れて、おたまでグルグルかき混ぜて……。そこへ「これはどう?」と泡だて器を提案したり、「これは?」と塩コショウも渡そうとしたら、首を強く振って拒否されました。「邪魔しないで」と言わんばかりに。そうだよね……。ごめん、ごめん。自分のイメージの世界を楽しんでいたんだね。すると、お母さんに飲み物を運んできました。お母さんはコップを持って嬉しそうにご馳走になっています。Kくんの遊びのイメージの中には、大好きなお母さんもいたのですね。

お母さんのお話によると、「自分で」と自分を強く主張して毎日大変とのこと。「自分」を主張するという頼もしい姿ですね。自己発揮が出来てから、次は遊びの中で人とのやり取りを楽しみ、相手の気持ちを知るようになります。今は「自分でする」「いや」と言えることを大切にしたいですね。



桜の聖母短期大学  
親と子の広場

小さなクラスの

さくらっこだより

火・金曜日

2015年11月号

10月は、朝晩と日中の気温の差が激しく、「子どもの朝の服選びに迷うのよね」という声が聞かれました。この季節は、こまめに衣服の調節が出来る服装が助かりますね。

先日、夕方の街中でお母さんに抱っこされた赤ちゃんを見かけました。赤ちゃんは裸足で上着も着ていなく、寒そうに見えました。

大人も室内と外では服装を変えるように、出掛ける時は、赤ちゃんにも帽子を被せてあげたり靴下を履かせてあげたいなと思いました。子どもの服装は、自分を基準に、同じように考えてあげれば良いのではないのでしょうか。

大人もちょっと油断すると風邪をひいてしまいそうです。季節の変わり目、大人も子どもも健やかに乗り切りましょう。

文責 奥田美由紀

## 急におしゃべりに！

粘土板を見つけて「粘土したい」とHくん（3歳6か月）。粘土がなかったので、冷蔵庫を開けて小麦粉を出し、小麦粉粘土を作りました。アンパンマンを作りたいということで、黄色と赤の色も着けました。



数ヶ月前から急に言葉がたくさん出てきて、要求が相手にすぐ伝わようになり、コミュニケーションがスムーズになって、とても楽しそう！いつもお父さんがたくさんお話ししてあげていました。その言葉をたくさん内に溜め込んでいて、一気に噴き出した感じです！「そんな言葉も知っていたのね」と驚かされています。

## おめでとうございます！



8月に2歳になったH君。みんなでお誕生日をお祝いしました。さらに、お休みの間にかわいい妹が生まれ、Hくんはお兄ちゃんになりました！

妹のCちゃんは、9月16日生まれ。

学生たちは、生後1ヶ月にもならない赤ちゃんを抱かせていただき、緊張と嬉しさでいっぱいでした。H君は、妹と同じようにベビーバスに入って、同じように哺乳瓶でミルクを飲んでいるそうです。下の子が生まれたとき、誰もが経験するこの気持ちを、家族みんなで受け入れて、H君の気持ちに大事に答えているお話を聞いて、なんて素敵なお家族だろうと思いました。だから、Hくんは気持ちが安定しているのですね。親にとっても大変な時期。産後のお身体を大切にしながら、広場をうまく使って、過ごしてくださいね。

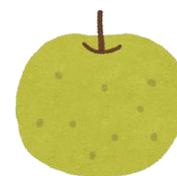


## おいしかった梨・梨・梨

### 梨ジュースを作ったよ

梨をすりおろして、ガーゼで絞って、すぐに飲む！これは絶対においしいよね。おいしすぎてお母さんに分けてあげない子が続出！今日は、ジュース少しだけだったからね。たくさん飲んで満足したら、きっと真っ先に大好きなお母さんに飲ませてあげるでしょうね。

いつもは、ペットボトルや紙パックに入っているジュース。果物からこんな風にジュースが出来るということを知りました。



梨をすりおろしながら、すぐにでも味を見てみたくなったA君。木下先生は、スプーンで味見を勧めました。

興味のあることを即試せると子どもは納得、そして大満足！

## ケーキに梨・栗・芋・豆のトッピング



友達と同じテーブルにいるけれど、一人一人が自分の世界にいます。大好きなお母さんと一緒に自分のペースでできることが大切です。ここが十分満足すると、だんだんと友達を求めていくのですね。今は、親子の「この時」を大切に、お母さん自身も味わってください。

### 簡単！おいしい！手作り蒸しパンのレシピ

材料 小麦粉（カップ1杯：110g）  
牛乳（カップ1/2杯：100ml）  
砂糖（大さじ3杯：27g）  
ベーキングパウダー（小さじ1杯：4g）  
<トッピング>かぼちゃ さつまいも りんご 甘納豆 栗の甘露煮  
レーズン コーン チーズ ソーセージ チョコチップ など



- ①ビニール袋に、小麦粉、ベーキングパウダー、砂糖、少しの空気を入れて口をしめ、手のひらの上でポンポンと50回位弾ませてサラサラにする。
- ②ボウルに①を入れて、牛乳を少しずつ入れ、ゴムベラでさっくりと混ぜる。混ぜすぎると膨らまないので注意！
- ③アルミカップに、スプーンで生地を流し入れる。
- ④生地の上に、好きなトッピングをのせる。（今回は、梨のコンポート、栗、サツマイモ、甘納豆でした）
- ⑤蒸し器の下の段に水を入れ、あらかじめ沸騰させておき、湯気がたっている蒸し器に④を並べて入れ、10～15分間、中～強火で蒸す。（今回は、電子レンジで5分でした）
- ⑥竹串か爪楊枝で刺してみて、生地がついてこなければ出来上がり！

## 子どもにもしっかり説明します



機械好きのA君は、オーブンレンジの液晶パネルに興味がありました。市川先生は、相手が子どもでもしっかりと説明し、パネルに触らせてあげていました。A君は、よく聞いています。

広場では、危険のない限り「触っちゃだめ」なものはありません。しっかり見せて、話してあげてください。



## 興味を持ったときが、チャンス

みんなのケーキ作りが終わりそうな頃、A君（2歳6か月）は、遊びを終えて、ケーキ作りにやってきました。粉を混ぜて、トッピングして…と、落ち着いて取り組んでいます。この年齢は、「みんなと一緒に」「順番が」「イヤ」で当たり前です。「イヤ」と言えることは大事です。その子の興味が向いたときに、興味のあることを納得いくまで取り組ませてあげたいと思います。だから、ジュース作りも、ケーキ作りも、お子さんの遊びが一段落した時に誘ってみて、「やってみたい」という子どもから作り始めました。

普段のおもちゃの片付けも、絵本を見る時間も、「もう少し遊びたい？」「そろそろ片付ける？」「絵本見に行く？」「見なくていい」等々、お子さんと対話しながら、お子さんの気持ちを優先して行動させてあげてください。親と子の広場では、子ども主体の生活を大切にしたいと思います。



さぁ、ケーキが出来たよ！みんな集まって！手を洗っていただく。

目的があれば、手を洗うのも早いもの。

最初に Y ちゃんのお誕生日のお祝いです。歌を歌って、お誕生カードを渡して、みんなでお祝いをしました。カードを受け取ってニコニコ顔の Y ちゃん。分かっているんだな～みんなの気持ち。

おいしいものが目の前にあるのに、いつまでもお預けでは悲しいね。だから、即、食べることにしました。今回は、電子レンジを使ったので、少し生だったり、硬くなったものもありました。蒸し器を使うとふわふわになるそうですよ。



最後に、みんなで「くだもの」の絵本を見ました。みんな絵本の前に来て「パクパク」と食べる真似をします。絵本の果物もおいしかったね。



## ぼく、歩きたいんだ

J 君は、現在 10 か月。手押し車につかまって、一歩二歩・・・と歩こうとしています。歩くと景色も変わり、楽しいのでしょうね。お母さんは J くんにもいつもこやかに話しかけ、会話しています。

## 梨の食べ比べ

3種類の梨を種類が分かるように表示し、食べ比べました。とてもみずみずしくて、I 君も S 君も喜んで食べてくれました。市川先生がつくってくれた2種類のコンポートも大人気！ピンクはりんごで色を着け、紫は巨峰で色をつけたそうです。色もきれいで味もとってもおいしくて、たくさんいただきました。



## 一人遊びから、友達との遊びへ

H 君がアイロンビーズをばら撒いて遊んでいました。私が頭の前で振り掛けるとそれを真似してお父さんの頭にも掛けて遊びだしました。ケタケタと笑っていると、A 君が近くに来て同じように遊び始めました。H 君のすることや表情を見ています。意識しているようです。H 君が持っているケースにアイロンビーズを入れ始めました。邪魔するというより、一緒に遊びたい様子。しかし、H 君は、困った顔をして、泣き出してしまいました。邪魔されたように感じたのかもしれません。しかし、A 君は「どうぞ」と言いながらアイロンビーズを差し出したり、かわわりを持とうとしていました。今まで周りには目もくれず、やりたいことにまっしぐら

だった A 君が、今日は H 君に何度も話しかけ、働き掛けています。一人遊びから、だんだんと友達を意識し始めてきましたね。子どもの成長は進んだり、戻ったり、ゆっくりゆっくりです。みんなで、見守っていききたいですね。



## お仕事に行ってきます！

Aくんが犬をおんぶして「いってきますーす！」Aくんお父さんは、子ども(犬)を幼稚園に送ってから、仕事に行くようです。お母さんは「行ってらっしゃーい」と見送ります。Aくんは自転車に乗って隣の部屋をぐるっと周ってきて

A君 「ただいまー」

お母さん「お仕事お疲れ様〜」

A君 「ふーー疲れた」

お母さん「ご飯にする？それともお風呂？」

A君 「お風呂！」



と繰り返し遊んでいました。Aくんのお母さんは、ごっこ遊びがとっても上手。A君の世界を大切にしています。『家にいると、家事をしたり遊び相手をしたがり・・・大変なんです。だから、「午前中は子どもと遊ぶ」と割り切っています』と仰っていました。

## 片付け、どうしていますか？

家の中が片付かない。一日中片付けているようだ。そんな声がよく聞かれます。皆さん、どうしていますか？

私が幼稚園の先生をしていた頃、年に1回家庭訪問をしていました。家庭訪問ですから、皆さん片付けや掃除をして、お待ちいただいているようですが、あまりにもきれいでもなく、素敵花瓶なども飾られていて「ここに子どもはいるのか・・・？」と思うくらい整っていると、逆に不安になりました。「子どもの生活感」が全く感じられないのです。ここで子どもはいつも何をしているのだろう・・・。やることがない。触ってはいけないものや汚してはいけないものばかりのように思えました。一方、あるお宅は、遊んだ様子が想像出来るように遊びの痕跡があるのです。お母さんもおおらかで、子どもと一緒に楽しむ遊び心があるのです。

家族構成、家族の性格などご事情は様々ですが、「ここは大人のスペースだから、家族が休めるように片付けておく」「ここは、子ども優先で遊びっぱなしでよしとしよう」そういう割り切りも必要かもしれません。ある方は、押し入れ一つを子どもの場所とし、シールを貼ったり、好きなものをごちゃごちゃに入れたりするのもOKと割り切ったそうです。

毎日繰り返し片付けさせれば片付ける子に育つのか・・・。言われてやったものは、言う人がいなければやりません。必要に迫られた時、するようになります。例えば、思春期になって彼女が部屋に遊びに来るとなれば、言われなくても片付けるでしょう。ほとんどの人は、必要に迫られて、片付ける必要があるから、片付けるのです。

子どもは、片付けなくても何も困りません。だから片付けないのです。私は現職時代「保育者の給料の半分は、片付けでもらっていると思え」と言われたことがあります。子どもに片付けさせず、自分の仕事だと思ってやりなさいと。園庭中に落ちていたシャベルやコップなどを一人で片付けていると「先生まだ〜？」「早くお昼にしようよ」と子ども達が来ます。「まだまだ片付けるのがあるの。待っててね」とゆっくり目に片付けていると「もう、しょうがないなー。手伝ってあげるよ」と子ども達も一緒に手伝ってくれました。「ありがとう！早く終わって助かるわ」と私。そして、あっという間に片付いてみんなでお昼にしました。

部屋の中におもちゃが散乱している時期は、人生の中でほんのわずかです。たくさん遊んで満足した顔で昼寝を始めた子どもの顔を見て、「片付けよりも大切な時間を子どもと過ごせた」と自己満足しませんか。





今日は、ハロウィン。Iくんは、 Donald Duck になって登場！学内にも、様々な衣装をした学生がいましたよ。みんなは、誰かに会えたかな？



## 学生の貴重な体験

学生たちは、親と子の広場で、皆様から育児の話を聞かせていただいたり、おむつ交換を体験させていただいたり、今月は、ミルクの授乳もさせていただき、緊張しながらも「吸う力がすごかった！」と感動していました。

このような実体験が学生たちの大きな学びにつながっています。

皆様のご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。これからも、どうぞよろしくお願いたします。(気になることがございましたら、遠慮なくお声がけください)



## クッキングのご案内

今月は、白菜を使ったクッキングを予定しています。

11月17日(火)は、白菜餃子と白菜漬け、24日(火)は、白菜巻き寿司の予定です。本学食物栄養専攻の市川優先生と木下ゆり先生が、子ども達と保護者の皆様のサポートをしながら、一緒に白菜を使って簡単なお料理を作ります。

11月17日(土)の野外保育に申し込んだ方は、白菜の収穫体験の後のお料理体験として、野外保育に行かなかった方ももちろん一緒に、料理を楽しみましょう。

費用は無料です。楽しく作っておいしくいただきますよ！

<11月の予定>

3日(火) お休み

6日(金)

10日(火)

13日(金) お休み

17日(火)

20日(金)

24日(火)

27日(金)

<12月の予定>

1日(火)

4日(金)

8日(火)

11日(金)

15日(火)

18日(金)

22日(火)

※年末年始はお休みします

## 親と子の広場のご案内

	小さな“さくらっこ”	“さくらっこ”
日時	火・金曜日 10:30 ~ 12:00	土曜日 10:00 ~ 12:30
場所	ミリアム館 1階保育室	ミリアム館 1階保育室
年齢	0歳~就園前	0歳~小学生
参加料	無料	500円(親子一組)(各回) 兄弟(3歳以上)はプラス300円
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円(年1回) ※おうちの方と一緒に参加してください	
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や着替えなど、必要と思われるものを各自でご用意ください	
担当	桜の聖母短期大学 淋 光江 (土) 奥田美由紀 (火)(金) こども保育コース教員 ※こども保育コースの学生も勉強のため参加します。	

桜の聖母短期大学 福島市花園町 3-6 ☎ 024-534-7137 (代表)